

[2013]九州大学情報統括本部年報 : 2013年度

<https://doi.org/10.15017/1559839>

出版情報 : 九州大学情報統括本部年報. 2013, pp.1-, 2014. 九州大学情報統括本部
バージョン :
権利関係 :



第23章 全学用情報共有システム検討

23.1 全学用情報共有システム導入・構築

(1) システムの検討・導入

将来の利用者増加およびデータ量増加に対応可能なサーバ構成で、かつ、試行運用に必要なサイボウズガルーン 300 ユーザ（内訳：情報統括本部 100、知的財産本部 100、予備・テスト 100）分のライセンスで仕様を作成し、この仕様に合致するシステムを導入しました。

(2) システムの構築・初期設定

基本機能となる掲示版機能、ファイル管理機能、ワークフロー機能、施設予約機能、スケジュール管理、アドレス帳機能、ポータル機能、リマインダー機能などについて、初期設定を行いました。

23.2 システムの試行運用の実施及び、要望・意見に基づく設定変更

(1) システムの試行運用

平成25年7月にシステムの試行運用を実施しました。

(2) システムの設定変更

試行運用による産学官連携本部からの意見等を踏まえ、システムの設定変更を行いました。

23.3 システムの有効性の確認、運用展開に向けての検討

(1) ニーズ調査

ITを活用した情報共有に関するアンケート調査を実施しました。

(2) 有効性の確認・運用展開に向けての検討

アンケート調査の結果、全学での運用は急務ではなく、各部局からの要望があれば、システムの切替えなどの時期に応じて、徐々に統合していくことが望ましいという結果が出ました。

また、現在稼働中の試行運用のシステムを本運用として、その管理を事務 ICT 支援グループが引き継ぐことにしました。

さらに、本タスクフォースの検討結果を情報企画課事務 ICT 支援グループに提供し、事務用ポータルとの統合も含め、今後のニーズに対応すべく業務として運用していくことにしました。